

() 有給生理休暇(七日間)獲得に關する件

提案 婦人部
電車部
三輪、新宿

() 家族バス要求に關する件

提案 電車部
赤坂

() 共済組合購買制度を純然たる消費組合制度に變更要求の件

理由 組合員の福利本位に基き消費組合制度に變更し従來の營利主義的方策を排撃す可きである

實行方法 本部一任

() 反動ファツシヨ撲滅の件

提案 電車部
南

() 共済組合食堂改善に關する件

提案 電車部
赤坂 柳島

共済組合食堂改善は直ちにそれが我々の榮養状態と支出に重大なる影響を持つ立場から絶へず叫ばれ來つた事であるが大強壓以後、不潔、設備の不完全、榮養率低下を來し品質の低下と適に値段は高價を來してゐる。

需要者の意見を基礎とせず放漫的化をせる官僚的經營方針を脱却し得ない所に根本的誤りがあるが其の點に就いては共済組合管理權獲得闘争の中に如へる事として當面の食堂改善方策を左記に掲げ闘争されん事を提出する。

實行方法

需要者の意見を基礎として經營方針を樹立せよ

設備の改善、値上げに依らざる榮養の向上、食堂器具を清潔にし、と共済組合に對し要求する事を附言して本部一任

() 各専門部活動促進の件

提案 電車部 巢鴨

今日の東交の現状を見る時、各専門部の活動は殆んど見られぬ可き點なく、ピラ、ニュース、通達等、出版部の活動に限られてゐる如き状態である。此の權供手傍觀せんが生活權を根

底より破壊せらるゝは言を待たざるが故に闘争組織の強化と共に恒常的闘争方針樹立の必要に迫られ殊に。各専門部の活動こそは寸時もゆるがせに出來ず、其の積極的活動の促進を提案する次第である。

實行方法

殊に組織部教育部活動に中心を置く可き事を附言し本部一任

() 犠牲者救援に關する件

提案 電車部各支部

労働組合が労働者の生活權確保の爲に必要不可欠ならざるもとして其の存在を公認せられて居る今日當該労働組合員が生活權確保の爲に一齊に起つた時其處に犠牲者を擲出する如きは如何に資本家共の當當手段であるとは言へ絶対に容認しざる所である。

だが併し現在の如き資本主義治下に於てはかかる正當なる理由も遇々にして曲解される所であるが、かかる場合當然の理由として犠牲者復職を高揚して闘争ふ事勿論であるが其處に凡ての期待をかける事は現情よりして無理である以上他面かかる犠牲者の救援に就いては善處す可きである。

生活權確保の爲の闘争によつて敵首謀とされた者の救援こそは次に代る幹部の活力となり組合中樞機關の活力ともなる。又かかる犠牲者こそは生活權確保の基石である以上組合

() 青年部確立に關する件

提案 巢鴨 早稻田

() 非乗務各部を支部に改組の件

提案 電車庫部

() 助手、補助手の初任給を技工並に引上げの件

提案 芝浦工場支部

() 事故による一切の損害當局負擔の件

提案 自動車部